

オン タイム 音time

野畑小学校 音楽室より
2021.9.24
No.6

学習の様子

2学期がスタートして、1か月が経ちました。諸々の制限がある中、どの学年の子どもたちも前を向いて、今できることをしっかりとがんばっています。2学期も安全第一で、楽しむ気持ちを忘れずにやっています。

◎3年生 うさぎ(歌) パフ(合奏)

中秋の名月(今年は9月21日でした)に合わせて、「うさぎうさぎ なにみではねる♪」の「うさぎ」を歌いました。リズム打ちをしながら、音符の学習もしています。合奏は「パフ」(教科書から)に取り組み始めました。使う楽器に新しくアコーディオン・ドラムセットが加わりました。iPad を使って練習していきます。

◎4年生 音楽交流会に向けて—Secret base～君がくれたもの～(歌) 風の通り道(合奏)—

歌は夏の終わりの名曲にチャレンジ!初めての二部合唱です。私の少年時代の歌ですが、名曲は色褪せないもので、子どもたちも気に入ってくれているようです。歌声も磨きがかかってきました。上手くハーモニーが合わさった時は、子どもたちの素直な歌声も相まって、思わず鳥肌が立ちます。合奏は1学期に引き続き、となりのトトロより「風の通り道」です。

◎5年生 組曲「カレリア」より「行進曲風に」(鑑賞) 民謡に親しもう 残酷な天使のテーゼ(合奏)

鑑賞はオーケストラとはなんぞや?というところから始めて、組曲「カレリア」より「行進曲風に」を聴きました。弦楽器・木管楽器・金管楽器と、各楽器が交代しながら主旋律を取るの、オーケストラの仕組みがつかみやすい曲です。「民謡に親しもう」では、「会津磐梯山」「音戸の舟歌」と、代表的な民謡を2曲聴きました。「こきりこ節」で、実際に曲に合わせてこきりこも叩いてみました。合奏は子どもたちのリクエストから。難易度高めですが、がんばってます!

◎6年生 平和を考える会に向けて—HEIWAの鐘(歌)— 木星(合奏)

修学旅行は延期になりましたが、平和学習の一つの区切りとして、9月27日「平和を考える会」で、これまで学んできたことを胸に、平和への思いを歌に乗せて他学年へ伝えます。感染拡大防止のため、あまりまとまった歌唱練習の時間が取れず、例年よりも厳しい条件の中ですが、子どもたちはとてもよくがんばっています。戦争の悲惨さ、平和の尊さを、一人一人がしっかりと学んできたのだろうな、と思います。合奏はホルストの組曲「惑星」より「木星」です。各クラス楽器決めが終わり、これから本格始動していきます。

※9月30日に予定していた音楽交流会(4年生→3年生)ですが、緊急事態宣言中のため延期します。

感染拡大防止対策

- ・歌唱はマスクをしたまま、全員が同方向を向き、前後2mの間隔を空けた上で行う。
- ・歌唱活動は長時間実施しない(トータルで15分～20分ほど)
- ・リコーダー等マスクを外す楽器は使用しない。
- ・楽器を使う前は必ず石鹸で手洗いをする。
- ・教室内の換気を徹底する。

合奏を音ゲー(ゲーム)感覚で…

合奏、子どもたちは大好きで、喜んで楽器に向かうのですが、楽譜を見て演奏するのって、なかなか難しいです。なので、こんな動画を作ってみました(5年生合奏「残酷な天使のテーゼ」からビブラフォンのパート)→→→→→→→→

鍵盤上のどこを押さえたらいいのかわかり、どんなリズムで演奏すればいいのかが視覚的にわかります。iPad に送ったこの動画を見ながら、個人練習をしています。せっかくの一人一台端末、音楽でも使わないともったいないので、どう活用していか試行錯誤しています。



W. D. H～わりと どうでもいい はなし～ 夏休み中にボカロデビューした話

二部合唱の曲を練習するときに、ソプラノ・アルトそれぞれのパートが別々に歌っている音源があればなあ…と、常々思っていました。市販の音源は大体、ソプラノ・アルトと一緒に歌っているものと、カラオケバージョンの2パターンしか入っていません。そう、ないものは作ってしまえばいいのだ!ということで、時間を持て余しがちな夏休み、ボーカロイドデビューしてみました。ボーカロイドとは?

ヤマハが開発した音声合成技術、及びその応用製品の総称である^[1]。略称として**ボカロ**という呼び方も用いられる。メロディーと歌詞を入力することでサンプリングされた人の声を元にした歌声を合成することができる。(wikipediaより)

なんと、調べたら無料のボーカロイドソフトがありました。今回私が使ったのは、「NEWTORINO」というソフトです。楽譜作成ソフトに楽譜と歌詞を打ち込んで、それをNEWTORINOに読み込ませるだけで本物の人の歌声のようにソフトが歌ってくれます。4年生と6年生は、このNEWTORINOで作った音源を聴きながら歌の練習を進めています。

ボカロと言えば、バンドをやっていた頃の仲間にアゴアニキという先輩がいました(以下アニキ)。ちょうど初音ミクが出だした頃で、時代はボーカロイド黎明期でした。アニキはいわゆるボカロp(ボーカロイドプロデューサー)の先駆けで、初音ミクで作ったボカロ曲をニコニコ動画に上げていたのですが、仕事もせずひたすら引きこもって、自分の動画の再生回数を稼ぐために毎日朝から晩までパソコンのF5(ページ更新のショートカットキー)を押し続けるという生活を送っていました。その努力の甲斐もあって動画の再生回数は100万回を突破し、今ではその道ではそこそこの有名人です。何か大きいことを成し遂げる人間は、どこかしらアンバランスなところがあって、そこでこぼしたところがそのままその人の魅力になっていたりもします。